

DH 650ID

ゆとりある豊かな未来社会をめざして

 日本車両

日車のクレーンが、
先進のHeavy duty「Iシリーズ」に進化した。



ISO-9001
認証取得

JQA-1232

THE ADVANTAGES

いま、日本車輜と石川島建機の技術融合により、クレーンの性能が大きく前進する。

「Iシリーズ」は、基礎工事に威力を発揮する強力ウインチ、大径ブレーキ、大型エンジンを搭載。

マシン心臓部の性能向上に加え、クレーン作業への愛(ai)からさまざまなI=Interface、Interiorを見つめ直し、従来にない快適な居住性を実現、同時に時代のアドバンテージを握る操作性、安全性を獲得した。

クレーンの性能が変わる。

基礎工事現場が変わる。

日車の「Iシリーズ」が始動する。



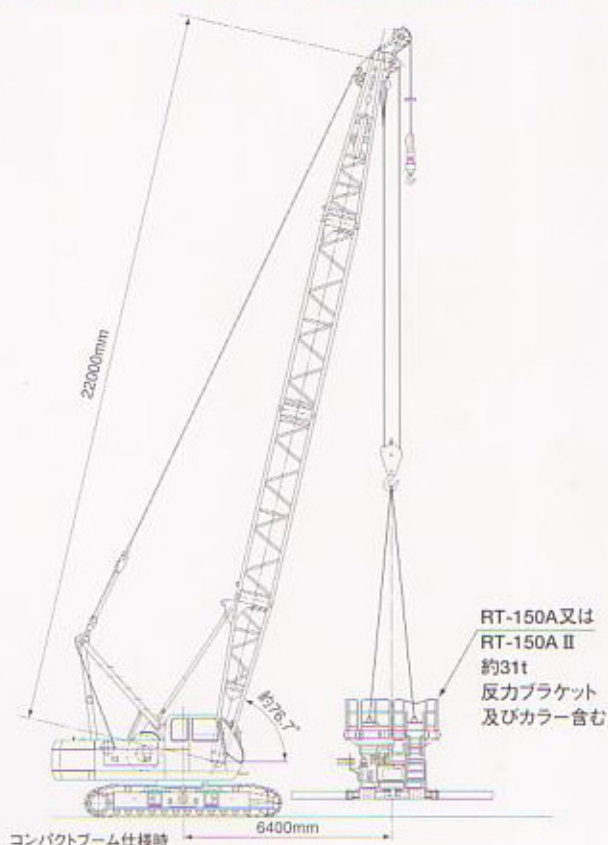
基礎工事用機械に特化した日車の技術と、 IHIの先進技術を融合。 65tクレーンのアドバンテージを掴み、 次代を拓く最新鋭マシン「DH 650ID」が誕生した。



コンパクトブーム仕様時

▶ サードドラム (オプション)

DH650IDは、オプションのサードドラムで荷役作業も可能です。φ18mmロープで最大34t×6.4mの吊り能力があり、杭径1500mmクラスの全周回転掘削機(RT-150A)の杭芯移動時に能力を発揮します。(ブーム最長25mまで)

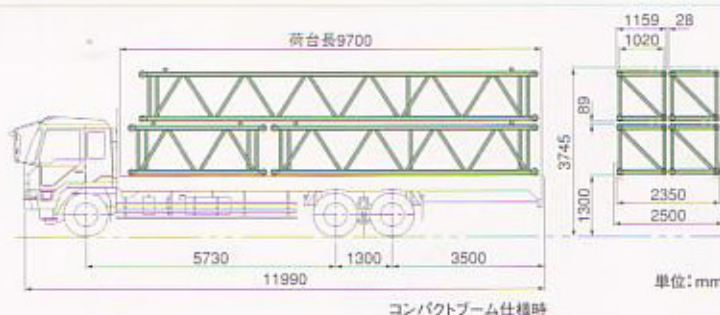


RT-150A又は
RT-150A II
約31t
反力ブラケット
及びカラー含む

コンパクトブーム仕様時

▶ コンパクトブーム仕様 (サスペンションロープ付)

好評だったコンパクトブームの仕様をアップして、従来最長40mのブーム長が46mまで伸ばしました。また、中間ブーム2本が2350mm幅に収まり、大型トラック1台にまとめて積載できます。輸送時の車両台数を減らすことができるとともに、狭い現場での煩雑さを解消し、輸送コストを低減します。



コンパクトブーム仕様時

単位:mm

輸送費の比較例

中間ブーム36m分の輸送(100km程度)を年間3往復行った場合、
年間:630,000円も節約となるため断然有利です。
(輸送の仕方によって金額は異なります)

| 仕様 | コンパクトブーム | 9mブーム |
|-------------|-------------------|-----------|
| ブーム構成 | 3m+3m+6m+6m+9m+9m | |
| 輸送車両(車種×台数) | 大型トラック×1車 | 大型トラック×4車 |
| 輸送単価(円/片道) | 35,000 | 140,000 |
| 年間輸送費計(円) | 210,000 | 840,000 |

▶ 差額:630,000円

▶ カウンタウェイト別能力(コンパクトブーム仕様/9mブーム仕様)

現場の状況に応じてウェイトを選定して搬入できるため、輸送コストを削減できます。



25t(標準装備)



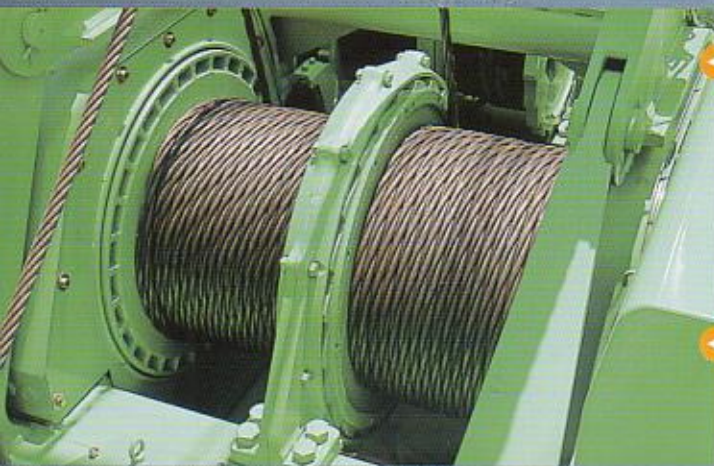
17t(1枚外し時)



9t(2枚外し時)

| | | | |
|--------------------------------|-----------|------------|-----------|
| カウンタウェイト | 25t(標準装備) | 17t(1枚外し時) | 9t(2枚外し時) |
| 最大吊上荷重 | 65t×4.1m | 60t×3.9m | 50t×3.7m |
| 最大ブーム長 (コンパクトブーム仕様/9mブーム仕様) | 46m/54m | 37m/45m | 31m/42m |
| 作業時質量 | 64.8t | 56.8t | 48.8t |

PERFORMANCE & COMFORT



▶ 強力なウインチ&ブレーキ

基礎工事を意識し、クラス最強のウインチを採用。ブレーキもφ1000mmの強力ブレーキを搭載しました。φ900mmの従来機に比べ、ブレーキ容量が大幅に増えたことにより、ハンマグラブなどの重掘削作業も余裕をもって行え、全周回転掘削機の相伴機としてふさわしいウインチとなっています。

▶ 主・補巻同列独立ドラム

ロープ径φ22mmの主巻・補巻ドラムを同列上に同一幅で配置。それぞれのドラムは独立して操作できます。ロープの巻取り状態も容易に確認でき、安全性が向上しました。さらに、ドラムとブーム先端とのフリートアングルも小さく抑えることができるため、偏摩耗が減少しロープやシーブの寿命も向上します。



SAFETY & MAINTENANCE

▶ 平積み方式のカウンタウェイト

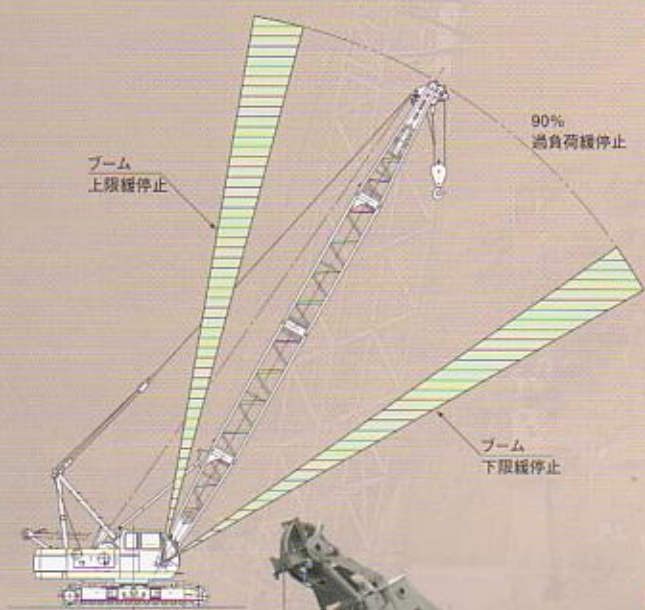
近年、好評の平積み方式のカウンタウェイトを採用。分解・組付が安全で容易に行えるとともに、10tトラックで輸送可能な質量に分割できるため、ランニングコストも削減できます。

▶ ショックをやわらげる緩停止システム

クレーン作業時の急激な自動停止は、荷揺れの原因となるばかりか危険を伴います。負荷が90%を超えた時、およびブームの上下限位置に近づいた時に、作業速度をゆるやかに減速させ、ショックをやわらげる緩停止システムを採用しました。

▶ グラフィックディスプレイを採用した、モーメントリミッタ

荷重・外形図、定格総荷重表の画面をパネルスイッチで切換えでき、マシンの作動状況を的確かつ容易に把握できます。一目で分かるように過負荷はアナログ表示、ブーム角度は大きなグラフィック文字で表示します。また、ブーム角の上下限を任意に設定でき、それぞれの設定角度に達すると表示値が点滅し警告を発します。さらに、音声による自動停止の予告、警報も装備されています。



▶ 低重心コンパクトクレーン

最大吊上げ荷重65t×4.1mと性能アップ、後端旋回半径3980mm、輸送時全高3100mm、後端地上高さ1100mm。低重心構造のコンパクトボディです。

コンパクトブーム仕様時